

令和5年度 事業報告書

学校法人池田学園
東京服飾専門学校

1.教育理念と取組、成果

- 1 全ての教職員について実務経験において内外に示せる活躍を持つ人を採用し、「ファッション業界での即戦力となる人材の育成」を目標に、各学科が目指す職種に合致した教育を行うことを全教職員に徹底できていると評価するものである。
また創設者の池田淑子が考案した池田式製図法をはじめ、実践的な技術や知識を身に付けられるよう指導を行っている。
学生ひとりひとりが知識や技術を確実に身につくように、懇切丁寧な教育・指導を心がけている。
- 2 企業からの講師を交えた産学連携授業を積極的に取り入れることによって、現場で求められる知識や技能の習得を目指し、人材の育成に役立てている。さらにそうした知識や技術を持った学生を育成すべく、授業内容や設備の拡充を行った。
- 3 産学協同授業や研修などの授業内容や、就職実績などの情報を学校資料・ホームページ・オープンキャンパスの説明会資料で公開し、成果を明示している。
- 4 教職員および学生が、研修先企業の機密情報に触れる機会も多いため、コンプライアンスに対する意識教育を徹底して意識を高めることは、社会に出る上での大きな経験になると考えられる。
特に学生においては機密の取り扱いを理解するために、研修前に面談や誓約書の提出をおこない、問題発生の防止に努めてきており、職務によって知れた情報の取り扱いに留意するという社会人としての常識を実践の場で身に付ける良い機会となっている。
また外部からも一定の評価がいただけるものと自負する。
- 5 検定試験においては以下の様な合格率結果となった。

パターンメイキング技術検定	3級	100%
パターンメイキング技術検定	2級	55%
色彩検定	3級	68%
色彩検定	2級	67%
色彩検定	UC級	100%
洋裁技術認定試験	初級	60%
洋裁技術認定試験	中級	50%
ファッションビジネス検定	3級	42%

- 6 上記について、入学志望者には体験入学や学校見学の機会を含め、学校パンフレット、ホームページ等において、入学を希望する学生や保護者に対しては様々な場面で周知を行っている。

2.学校運営について

- 1 引き続き校内の照明LED化工事とアトリエ教室の改修工事を進め、大型液晶の各教室配置など、施設や設備の充実を図った。
- 2 休学、退学へのフォローとして、スクールカウンセラーを設置して、業務委託の学生のメンタルヘルスサポートを置き、減少に務める体制を整えた。
- 3 学校資料やオープンキャンパスでの説明会において、実施されているカリキュラムの内容や産学連携、インターシップ、就職状況などを適切に説明している。

3.学生就職率等について

コロナ禍を経て、業界全体の採用状況がコロナ前に戻りつつある中で、新規求人企業の開拓を実施。採用人数を大幅に増加させる企業が多く、学内企業説明会を積極的に開催した。その結果、近年採用のなかった企業へ内定をつなげることができた。

本年度の内定率は85%と昨年度から5%内定率が向上。卒業時点で内定が決まらなかった学生には引き続き就職室を開放し、就職指導と求人情報の公開をしている。また、卒業生の転職相談に対応することで、中途採用でも企業連携を図り、幅広い求人情報を獲得。業界全体の求人状況の把握に努めることで、各企業の展望を考慮した指導を行っている。

また、近年早まる新卒採用スケジュールに対応できるよう、1年次からインターンへの参加、企業訪問、学内企業説明会の実施などの企業連携を強化。特に学生が関心の高いEC分野へのインターン先の開拓に力を入れた。インターン強化は学生と企業のマッチングを高め、早期退職防止へとつながっている。さらに、就職担当と担任による学生面談の機会を複数回設けることで学生の志望する企業・職種を把握し、ブランド系統、企業特色とのマッチングを考慮した適切な指導を行っている。